

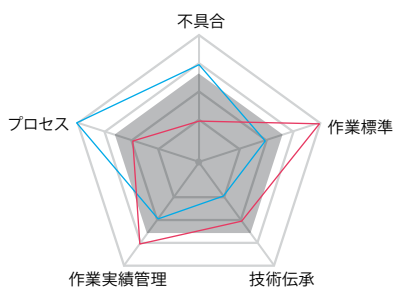
“現場の”健康診断



現場にはびこる“未病”を発見！

プロセスを知り、
問題を知り、
自らの“今”を知る。

健康診断で得られるもの



客観的指標に基づく現状評価

DocFAIの経験から見出した、5つの指標に基づき、現状を数値化して把握することができます。



自らを評価するノウハウ

現状を分析する過程を実際に行うことで、その現状分析の方法を体得することができます。



課題形成 & 解決の組織文化

お客様の現在の状況や目指す方向性、これまでの取り組みを伺い、今後の取り組みの方向性についてディスカッションします。

企業を健康体にする3つの要素



健康体に近づくためには、3つの要素が必要です。

- ・今の状態を知ること
- ・目指す姿を決めること
- ・専門知識を持つこと

とりわけ、「今の状態を知ること」については、そのプロセスがおろそかになりがちで、考えている改善策が必ずしも良い効果を生まない、という事態を何度も目の当たりにしてきました。

健康診断の方法

1 プロセス整理



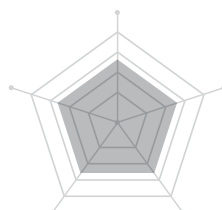
お客様の現在の状況や目指す方向性、これまでの取り組みを伺い、今後の取り組みの方向性についてディスカッションします。

2 問題点整理



お客様の現場を拝見し、現場に近い方のお話を伺いながら、各お客様に最適な健康診断プラン策定をいたします。

3 現状採点



業務プロセスと問題点を現場の言葉にして洗い出し、客観的指標をもって現状を数値化して現状を把握し、課題を形成します。

4 課題形成



現状診断に基づいて、お客様とともに課題解決（ソフト・ハード開発・導入、業務プロセス再設計、教育等）を伴走型で実行します。

健康診断プランの例

	活動内容	活動形態
第1回	目的を整合し、今後の活動のスコープを目合わせします。	お客様会議室
第2回	対象業務のプロセスを書き出します。	お客様会議室
第3回	作成したプロセス図を基にして、業務の問題点を書き出します。	お客様会議室
第4回	問題点を徹底的に書き出します。	Skype
第5回	書き出された問題点を基に、メンバー個別で現状分析をします。	お客様会議室
第6回	メンバー個別で作成した現状診断票を基に、チームで一つの診断票を作成します。	Skype
第7回	問題の大きさを数値化し、取り組みの優先順位を決めます。	お客様会議室
第8回	決めた優先順位に従って、目的と課題を形成します。	お客様会議室

